

教員選考に係る提出書類の記入要項

教員個人調書

1. 「氏名」の欄

「フリガナ」は、片仮名とする。

また、旧姓等の通称名を使用している場合は()書きで本名を併記すること。

(記載例：通称名が山田太郎、本名が田中太郎の場合・・・【山田(田中)太郎】)

2. 「生年月日(年齢)」の欄

採用・昇任予定日における満年齢を記入する。

3. 「学歴」の欄

(1) 学歴

大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴を有する者は、これらの学歴のすべてについて記入する。

学歴には、入学、修了、退学等のすべてについて記入する。

入学と同一の大学等の学部・課程等を卒業、修了、退学等の場合には、行を改めて「年月」とともに「同上卒業」等と記入する。

修士課程、博士課程の表記は、次の例による。

【例】平成25年4月 大学大学院 研究科修士課程(学専攻)入学

平成27年3月 同上修了(修士、又は修士())

平成27年4月 大学大学院 研究科博士課程(学専攻)入学

その他、前期博士課程、後期博士課程等、当該大学において特別な名称があるものは、それに従う。

博士課程の修了等については、次の例による。

【例】a 学位を得た場合……………博士課程修了(博士、又は博士())

b 所定の単位を修得したが、学位を得なかった場合…博士課程単位修得後退学

c 所定の単位を満たさなかった場合……………博士課程退学

大学院の課程を経ずに学位を取得した場合には、次の例による。

【例】令和4年6月 博士、又は博士()(大学)

外国留学については、学生としての留学の場合は学歴欄に、研究員としての留学の場合は職歴欄に記入する。

(2) 資格・免許

学位、称号のほか、教員の資格についても学歴欄に記入する。この場合、登録番号も付記すること。

【例】令和5年3月 高等学校教諭一種免許状(数学、令 高一種第 号・ 教育委員会)

外国における資格については、正確に記入するとともに、その資格の内容を日本語で併記すること。

4. 「職歴」の欄

(1) 職歴について

全ての職歴(自営業、主婦、無職等を含む)について記入し、職名、職位等についても明記する。

各職歴について在職期間を明確にし、現職については、その項の末尾に(現在に至る)と明記する。

大学教員の職歴については、主な担当授業科目を併記する。

(2) 記入例

同一の勤務先で職名等が変更になった場合は、次の例による。

【例】平成20年4月 大学准教授(学部 学科)

平成30年4月 大学教授(学部 学科)

勤務先が異なる場合は、次の例による。

【例】令和2年4月 大学講師(学部 学科)

令和5年3月 同上辞職（又は退職）

令和5年4月 大学講師（ 学部 学科）

非常勤講師を辞した場合には、その年月を（ ）内に記入し、行を改める必要はない。

【例】令和5年4月 大学講師（ 学部 学科）（非常勤）（令和6年3月まで）

高等学校の種別については、次の例による。

【例】a 公立校…令和2年4月 県立 高等学校講師（定時制課程）（非常勤）（令和3年3月まで）

b 私立校…令和3年4月 学園高等学校教諭（現在に至る）

大学の種別については、次の例による。

【例】a 国立大学法人…令和2年4月 大学講師（ 学部 学科）（非常勤）（令和5年3月まで）

b 公立大学…令和3年4月 県立女子短期大学准教授（ 科）（現在に至る）

c 私立大学…令和4年4月 大学教授（ 学部 学科）（現在に至る）

海外留学や内地研究員等の履歴については、その年月、行先国名、大学・研究所名、費用負担等を記入する。

【例】a 令和2年4月～令和3年3月 アメリカ 大学（文部省在外研究員）

b 令和4年9月～令和5年3月 イギリス 研究所（私費）

5. 「学会及び社会における活動等」の欄

本人の専攻、研究分野等に関連した事項について記入する。

(1) 学会における活動

現在所属している学会及び過去に所属していた学会の名称を、加入した年月順に記入する。学会において役員等を務めている場合又は務めていた場合には、その職名を（ ）内に記入する。また、退会の場合には、その年月も（ ）内に記入する。

【例】平成17年4月 学会会員（平成25年3月まで）

平成18年4月 学会会員（平成20年4月から平成23年3月まで評議員）

平成19年4月 学会会員（平成26年4月から常任理事）

学会以外の団体に所属している場合には、その団体が学会に準ずる程度の水準や規模であるものについて記入する。

(2) 社会における活動

本人の専攻、研究分野等に関連した事項について、全国的又は都道府県における活動及び学会に準じる程度の水準や規模における活動について記入する。

6. 「賞罰」の欄

公的機関、学会、出版社等からの表彰又は職務上の表彰や懲戒処分、研究費の不正受給に係る処分等について記入する。該当しない場合は、「なし」と記入する。なお、過去に学生に対するセクシュアルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分若しくは分限処分を受けた場合には、処分の内容及びその具体的な事由を必ず記入すること。

7. その他

個人調書には、写真（縦45ミリメートル×横35ミリメートル、1年以内に撮影したもの）を添付、または写真データを提供してください。（添付の場合は、写真は個人調書にクリップ等でとめてください。）

【記入例】
 (その2)

教育研究等業績書

年 月 日

氏名 岩 手 太 郎

教育上の能力に関する事項		
事 項	年月日	概 要
1 教育方法の実践例	平成24年4月	ICTを活用した授業を実施
2 作成した教科書、教材 (1)〇〇科副読本	平成16年4月	発行：〇〇研究会 ○ ○頁
3 実務の経験を有する者についての特記事項	平成10年6月 平成29年8月 令和2年9月	研究大会発表者 〇〇研修会講師 市立 小学校学校公開研究会 指導助言
4 その他		上記以外にあれば
職務上の実績に関する事項		
事 項	年月日	概 要
1 資格、免許	平成5年3月	小学校教諭一種免許状 教員等の資格で担当予定授業科目に関連するもの
2 特許等		特許，実務新案等で担当予定授業科目に関連するもの
3 実務の経験を有する者についての特記事項		〇〇市教育指導委員 〇〇協議会委員
4 その他		上記以外にあれば

研究業績に関する事項

区分	内容（著書、報告書等の名称、発行元、著者名、発行又は発表年月、該当頁）
著書	1. 〇〇の学び 書店 共著 AA、BB、CC （令和〇年〇月） ○-〇頁
学位論文	1. 方法史の研究 - 教育を中心に - 大学学位論文（修士） 単著 （令和〇年〇月） 235頁（40字×40行）
学術論文	1. の形成と変容 〇〇学会 共著 AA、BB、CC （令和〇年〇月） ○-〇頁
研究紀要	1. 思想について - をめぐって - 〇〇大学研究紀要 単著 （令和〇年〇月） ○-〇頁
報告書	1. 〇〇に関する実践報告 〇〇研究会 共著 AA、BB、CC （令和〇年〇月） ○-〇頁
その他	(教科書) 1. 〇〇学入門 (指導書) 1. 複式学級の指導 その他手引書、マニュアル、書評等
学会発表	1. についての一考察 シンポジウム（研究会主催） 単（or 共）

業績は発行年月が（過去 現在）の順に記入